

●ダウンロードファイルの内容

例

| 学校名 | 用途 | 構造 | 階数 | 面積 | 診断年度 | 補強の要否 | 耐震補強 | 現在のIs値 | 備考 |
|-------|-----|----|----|------|------|-------|------|--------|----|
| 〇〇小学校 | 校舎 | R | 3 | 960 | H10 | 必要 | 済 | 0.87 | |
| | 体育館 | R | 1 | 737 | H12 | 必要 | 未 | 0.56 | |
| □□中学校 | 校舎 | R | 3 | 1786 | H12 | 必要 | 済 | 0.76 | |
| | 校舎 | R | 3 | 1131 | H12 | 必要 | 済 | 0.78 | |
| | 体育館 | S | 1 | 606 | H12 | 不用 | 不用 | 0.83 | |

注1)旧建築基準(S56以前の建築基準)の建物(棟)を掲載しています

注2)文部科学省の調査範囲である、非木造の2階建て以上または非木造の延床面積

200平米超の建物を掲載しています

注3)耐震性のある建物とは、Is値が0.7以上の建物をいいます

「学校名」 :小中学校・幼稚園を表示します

「用途」 :建物(棟)の主な施設用途で表示します

「構造」 :躯体構造を表示します

「R」とは、鉄筋コンクリート造、「S」とは、鉄骨その他造、混合構造

「階数」 :何階建てかを表示します

「面積」 :延床面積を表示します

「診断年度」 :耐震診断を実施した年度を表示します

「補強の要否」 :診断結果により、耐震化が必要だったかどうかを表示します

「耐震補強」 :耐震化を実施したかどうかを表示します

基本的に「補強の要否」が「不要」であれば、「耐震補強」も「不要」です

「現在のIs値」 :「補強の要否」が「不要」ならば診断結果のIs値を表示します

「補強の要否」が「必要」で「耐震補強」が「済」ならば耐震後のIs値を表示します